

SJクイズ?

[問題編]

Q1

自転車^{*}が第1当事者または第2当事者となった交通事故（自転車関連交通事故）は交通事故全体の約2割を占めています（平成28年中）。自転車関連事故件数を相手当事者別にみると、対自動車^{*}が最も多くなっていますが、その割合は次のうちどれでしょう？

- ①約55% ②約70% ③約85%

※第1当事者は交通事故の当事者のうち過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。
第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は、被害がより大きい方の当事者。

Q2

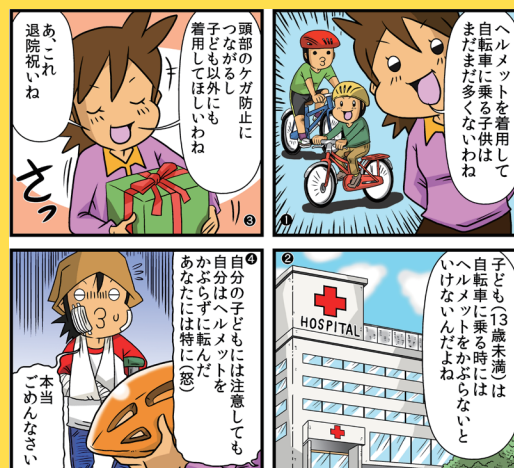
自転車関連交通事故件数を事故類型別にみた場合、最も多い事故類型は次のうちどれでしょう？

- ①出会い頭衝突 ②左折時衝突 ③右折時衝突

Q3

道路交通法で自転車乗用時にヘルメット着用が保護責任者に義務づけられているのは何歳未満の子どもでしょう？

- ①6歳未満 ②13歳未満 ③15歳未満



【使用上の注意】

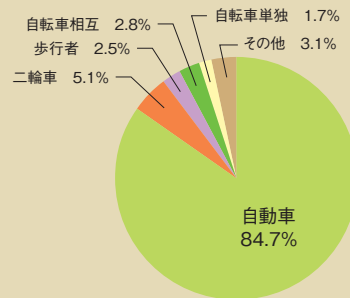
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q 1 解答 ③約85%

<解説>

平成28年に自転車第1当事者または第2当事者となった交通事故件数（自転車関連事故）は9万836件。これを相手当事者別にみると、対自動車（自動車）が84.7%と最も多くなっている。クルマとの事故では、被害が大きくなるのは自転車のほうだ。ドライバーは、見通しの悪い交差点での自転車の急な飛び出しなどを予測して運転する必要がある。

●自転車（第1・第2当事者）の相手当事者別交通事故件数（平成28年・構成率）

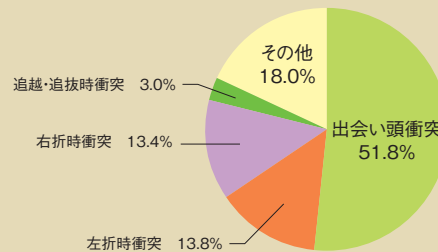


Q 2 解答 ①出会い頭衝突

<解説>

平成28年の自転車関連事故を事故類型別にみると、出会い頭衝突が51.8%と半数以上を占めており、左折時衝突（13.8%）、右折時衝突（13.4%）と続いている。出会い頭事故の防止のため、一時停止標識のある交差点や見通しの悪い交差点を通行する際、自転車利用者は必ず止まって左右の安全を確認してほしい。

●自転車（第1・第2当事者）の事故類型別交通事故件数（平成28年・構成率）



Q 3 解答 ② 13歳未満

<解説>

道路交通法では、幼児・児童（13歳未満）が自転車に乗る際のヘルメット着用が保護責任者の努力義務となっている。自転車乗用中の交通事故死者数を損傷部位別にみると、59.7%が頭部である。頭部を保護するため、自転車乗用時は幼児・児童に限らず、ヘルメットを着用することが安全といえる。

※文中のデータ、グラフの出典はすべて警察庁資料

[使用上の注意]

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736